

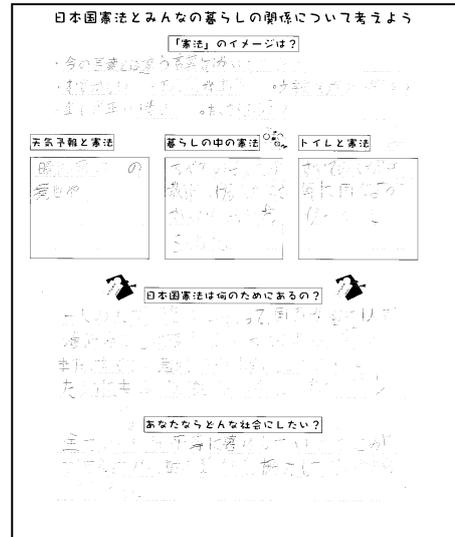
実践記録（小6・社会科）

1 ねらい

日本国憲法と国民生活のかかわりについて話し合いを行い、自分の考えを深めることができるようにする。（思考・判断・表現）

2 手立て

- ・ 教育番組の活用
NHKforSchool の番組「社会にドキリ」を活用し、暮らしの中にある日本国憲法についての気付きをもつことができるようにする。
- ・ ワークシートの活用
友達と考えを共有する際、ワークシート【資料1】を活用し、「天気予報と憲法」「暮らしの中の憲法」「トイレと憲法」の観点ごとに話し合いをすることで、情報の整理を行う。



【資料1】児童の考えが記述されたワークシート

3 実践の様子

実践の中で、ワークシートを活用した。本実践に向けて作成したワークシートは、話し合いをする上で、最初にもった自分の考えを記述したり、よいと感じた友達の考えを記録として残したりすることができる。また、導入の発問で発言がしやすくなるように、イメージを先に記述したり話し合いにおいて、よいと感じた友達の考えはメモを取るよう伝えたりすることで、ワークシートを活用した話し合いが活発になったと考える。

また、「日本国憲法は何のためにあるのか」という内容を基に、学習のまとめを発表する際、本時での学習の流れをワークシートで確認しながら発表内容を考えることにより、1時間の中で学習した内容を整理しながら、発表用ホワイトボードにグループの考えをスムーズに記述することができた。【資料2】話し合い活動では、ただ話し合うだけではなく、ワークシートの活用により学習の軌跡をたどることができるようにすることが大切であると感じた。



【資料2】ワークシートの内容を基に、発表する内容をホワイトボードにまとめる児童

4 成果と課題

- 番組では、日本国憲法と暮らしに関わる様々な内容がテンポよく紹介されており、児童の興味関心をかき立てることができた。
- 自分の考えの流れを一目で確認することのできるワークシートを活用して、に考えを整理し、深めていくことができた。
- 「君ならどんな社会にしたい？」という問いかけを授業のまとめとして発問し、ワークシートに記述したが、「どんな社会にしたいか」ということと、「憲法とわたしたちの暮らしが関わっていること」をどのように結びつけるかが、児童にとっては難易度が高かったように感じた。ワークシート内に補足を加えたり、日本国憲法に対して意識をもつことの大切さについて気付かせる発問をしたりする必要があった。